

令和元（2019）年産なしの管理ポイント（第3報）

令和元（2019）年5月15日
塩谷南那須農業振興事務所経営普及部

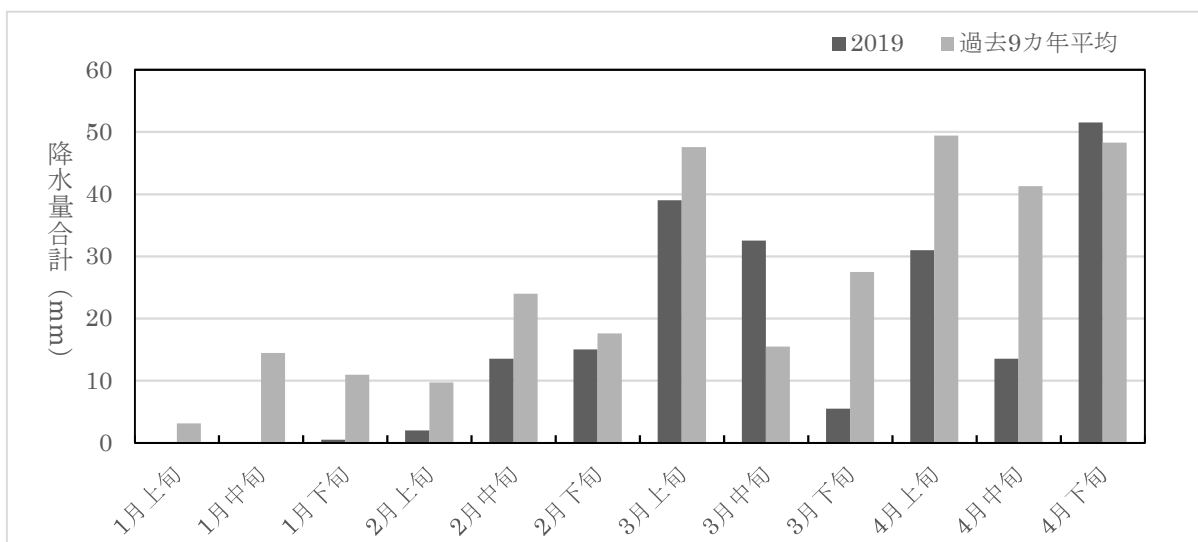
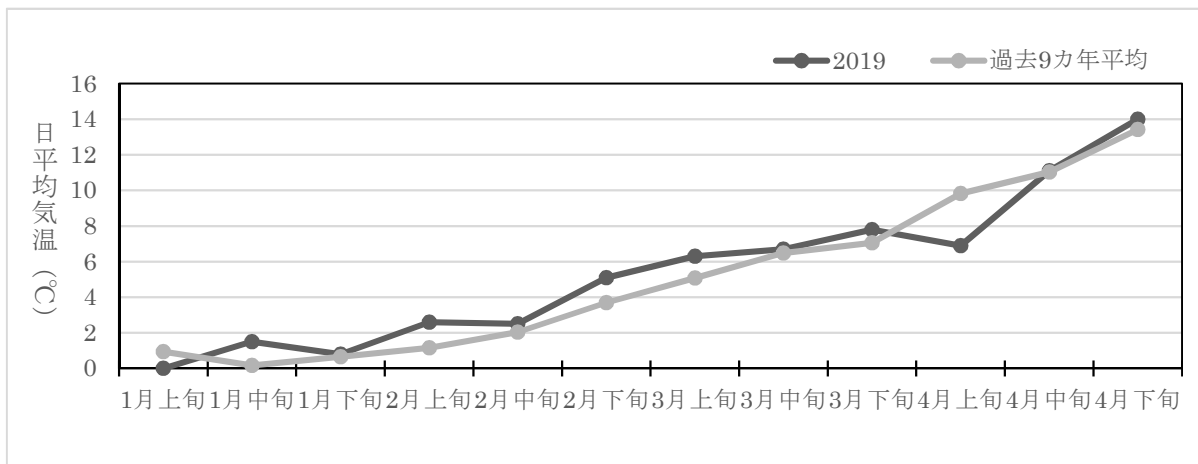
★今回の管理ポイント

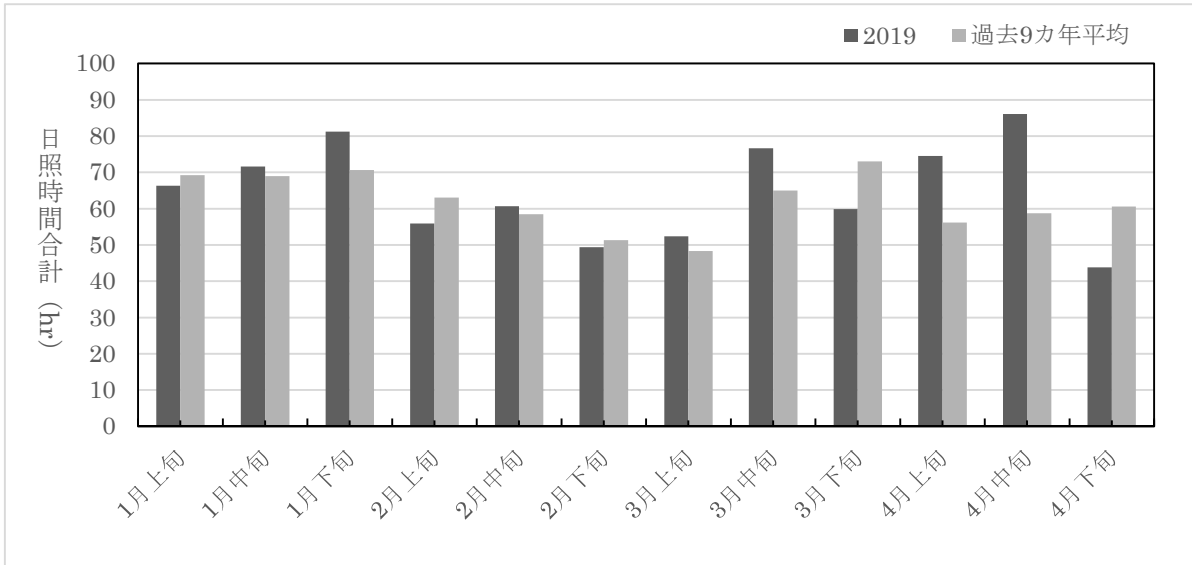
- 多目的防災網の早期の展張
- できるだけ早く予備摘果を実施
- 主要病害虫の防除の徹底
- 除芽や新梢整理（夏季せん定）は、樹勢を低下させないため、必要最小限にとどめる。

本年産なしの開花は、4月上旬に平年よりも気温が低く推移したため、昨年より8～9日遅く、平年並となった。

今後は、降ひょうに備え多目的防災網を速やかに展張し、高品質果実生産のためにできるだけ早く予備摘果を実施する。また、満開後30日頃までは黒星病の重点防除時期なので、防除時期が遅れないように注意する。

1 気象経過（アメダスデータ 地点：那須烏山）





2 本年の開花状況

(1) 地区別開花状況 (南那須地域)

No.	地区名	開花盛日				
		にっこり	新高	豊水	幸水	あきづき
1	大桶	4/19	4/21	4/22	4/24	4/25
2	興野 (北)	4/16	4/18	4/21	4/23	4/24
3	興野 (南)	4/19	4/20	4/22	4/24	4/25
4	滝	4/16	4/18	4/21	4/23	4/24
5	中山 (上)	4/18	4/18	4/22	4/24	4/25
6	中山 (下)	4/19	4/19	4/23	4/25	4/26
7	福岡	4/19	4/20	4/23	4/25	4/26
8	八ヶ代 (上)	4/14	4/16	4/19	4/21	4/22
9	八ヶ代 (下)	4/19	4/20	4/23	4/25	4/26
10	芳井	4/19	4/21	4/21	4/23	4/24
平均		4/17	4/18	4/21	4/23	4/24

(2) 地区別開花状況 (塩谷地域)

No.	地区名	開花盛日				
		にっこり	新高	豊水	幸水	あきづき
1	台新田	4/16	4/16	4/20	4/22	4/23
2	大谷	4/17	4/17	4/20	4/23	4/24
3	柏崎	4/18	4/19	4/25	4/26	4/27
平均		4/17	4/17	4/21	4/23	4/24

(3) 生育診断ほの開花状況

地区名	品種名	開花始			開花盛			開花終		
		本年	平年差	昨年差	本年	平年差	昨年差	本年	平年差	昨年差
那須烏山	幸水	4/21	+1	+9	4/24	±0	+9	4/29	+2	+9
	豊水	4/18	±0	+7	4/21	±0	+8	4/27	+2	+7
農業試験場	幸水	4/20	±0	+9	4/23	±0	+10	4/26	-1	+8
	豊水	4/18	+1	+9	4/21	+2	+9	4/25	+1	+7
	にっこり	4/13	-1	+8	4/17	±0	+9	4/21	±0	+9

※ 那須烏山：福岡 農業試験場：宇都宮

※ 「+」は遅い 「-」は早い

3 病虫害発生状況

○黒星病

- ・芽基部病斑の発生は平年より少なめだが、4月下旬～5月上旬の降雨以降散見され始めた。

○アブラムシ類

- ・一部で散見され始めている。

4 当面の管理ポイント

(1) 多目的防災網の展張

- 降ひょう被害防止のため、ミツバチ回収後速やかに展張しておく。

(2) 予備摘果

- 結実状況や初期肥大をよく確認の上、樹勢に応じてできるだけ早く予備摘果を行う。

○品種別実施時期と方法

品種	時期	具体的方法
幸水	満開後 30 日まで	① 1 果そう 1 果にする。 ② 2～4 番果の中から、果梗が太くて長く、発育、形状の良い果実を残す。 ③ 上向き果、下向き果、無着葉果そうの果実等は落とす。 ④ 主枝、垂主枝、結果枝先端の果実は落とす。 ⑤ 孫花の果実は落とす。
豊水 あきづき	満開後 40 日まで	
にっこり	満開後 20 日まで	

○「にっこり」の品質向上対策（輸出対応）

- ・大玉生産のために、できるだけ早く予備摘果を行う。
- ・果実は収穫時に柵線や枝に触れないように配置し、外観品質の向上に努める。
- ・果肉障害の発生が懸念される園は、カルシウム剤（カルタス、カルプラス、アクアカル等）を満開後 14 日から 2 週間間隔で 5 回以上葉面散布する（豊水、あきづきにも有効）。

(3) 病害虫防除

○ 黒星病

芽基部病斑の摘み取りを徹底するとともに、発生初期の薬剤防除に努める。

○ アブラムシ類、ハダニ類

発生をこまめに確認し、発生初期に薬剤防除する。

○ ニセナシサビダニ

成虫発生初期の5月上旬及び成虫増加期の5月下旬に重点的に防除する。

○ チャノキイロアザミウマ

越冬世代から第1世代、第2世代幼虫が発生する6月中旬頃までの防除を徹底する。

○ ナシマルカイガラムシ

第1世代幼虫の発生時期である5月～6月にかけての薬剤散布を徹底する。

○ 使用する剤によって薬害が発生しやすくなるので、高温時の防除作業はできるだけ行わない。

(4) 除芽・新梢管理

○ 過度な除芽や新梢整理（夏季せん定）は、樹勢を低下させるため必要最小限にとどめる。

5 長期予報

(1) 1か月予報(5月9日気象庁発表 関東甲信地方5/11～6/10の天候見通し)

○ 天気は数日の周期で変わる。

○ 各階級確率

気温 低い：10% 平年並：40% 高い：50%

降水量 少ない：40% 平年並：30% 多い：30%

日照時間 少ない：30% 平年並：40% 多い：30%

(2) 関東甲信地方3か月予報(4月24日 気象庁)

○ 予想される向こう3か月の天候

5月：天気は数日の周期で変わる。

6月：平年に比べ曇りや雨の日が少ない。

7月：平年に比べ曇りや雨の日が多い。

○ 向こう3か月の気温、降水量の各階級確率(%)

【気温】

3か月 低い：30% 平年並：40% 高い：30%

5月 低い：40% 平年並：30% 高い：30%

6月 低い：20% 平年並：40% 高い：40%

7月 低い：40% 平年並：30% 高い：30%

【降水量】

3か月 少ない：30% 平年並：40% 多い：30%

5月 少ない：40% 平年並：30% 多い：30%

6月 少ない：40% 平年並：40% 多い：20%

7月 少ない：20% 平年並：40% 多い：40%

農作物には登録農薬を使用し、使用基準を遵守しましょう！



身支度も
万全に！

- ①農薬容器のラベルをよく読み正しく使う
- ②農薬の飛散防止を徹底する
- ③農薬の使用状況を正確に記帳する



気象災害による農業被害を未然に防ぐため、
技術対策情報が 携帯電話等に直接メール配信される
「とちぎ農業防災メール」のご登録をお願いします！
併せて、気象警報・注意報等が直接メール配信される
「栃木県防災メール」のご登録をお願いします！



↑「とちぎ農業防災メール」
登録はコチラから



↑「栃木県防災メール」
仮登録はコチラから